

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 3 月 12 日作成)

小委員会名	住宅の火災安全小委員会		主 査 名：長谷見 雄二 就任年月：2009 年 6 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火委員会		委員長名：田中 哮義
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・1 年度 住宅の火災安全に関する現状・課題の検討と改善への枠組検討 ・2 年度 「住宅の火災安全の課題」に関するシンポジウムの企画・実施 ・3 年度 「住宅の火災安全の現状と課題」に関する報告書作成 ・4 年度 「住宅の火災安全」に関する長期的取り組みの枠組提言 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：		
	長谷見雄二(早稲田大学)、玉川祐司(ミサワホーム)、遊佐秀逸(ベターリビング)、山田誠(住宅木材技術センター)、泉潤一(三井ホーム)、古川容子(日本建築センター)、鍵屋浩司(国土技術総合研究所)、成瀬友宏(建築研究所)、安井昇(桜設計集団)、鈴木恵子(総務省消防庁)、糸毛治(北方建築総合研究所)、大宮喜文(東京理科大学)、野秋政希(東京理科大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	木質系住宅防火性能コンプライアンス検討 WG：住宅に多く存在する法的位置づけ・法解釈の曖昧な部位・部材について、技術的な面から必要な防火性能の検討、性能確保の方策を検討する。		
2009 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	住宅部材について、準耐火構造建築物の屋根の扱い等について、パブリックコメント案を作成した。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	建築確認厳格化により派生した木造・住宅等の防火対策上の課題について、小委員会及びWGで詳細に検討を行った。この問題は伝統木造において特に影響が大きいことに鑑み、伝統木造に特化したWGを2010年度に発足させることとした。
委員会活動の問題点・課題	建築確認厳格化等に由来する課題の検討に追われたこと、また、経済状況の急激な変化により、本来の検討課題である中長期的研究の展望の検討については、なかなか取り組めていない。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。